



# 校長室だより

第 4 号

令和3年4月27日(火)

大崎市立沼部小学校

校長 吉田 浩之

## ぬくもりのある子ども

沼部小学校では、「ぬまっこ」の頭文字をとって4つの目指す児童像を定めています。

ぬくもりのある子ども  
強くたくましい子ども

学び続ける子ども  
心をこめてあいさつをする子ども

「ぬくもり」を調べてみると、「人間の温かみが、感じられるさま」、「他人を思いやる気持ちがあるさま」という意味があります。優しさが感じられたり、気遣いを感じられたりする言葉です。

沼部小では、ぬくもりのある子どもにするために、次のことに取り組みます。

◎ 思いやりのある子どもにします。

◎ 人の関わりを大切にし、役割を果たせる子どもにします。

具体的には先日配布いたしました「沼部小プラン」をご覧くださいと思います。

さて、26日(月)の2校時に「なかよしになろう」というたて割り活動がありました。目標は2つです。「学年学級の枠を外し、年齢や地区を超えた仲間づくりを目指す。」「下学年の児童に対する思いやりの心を育て、上学年に対する感謝の気持ちをもたせる。」です。

「行事やたて割り活動を通して人と触れ合う機会を多く取り入れ、良い関係を築けるようにします。」という手立てに沿った活動となります。

6年生が1年生を迎えに行きます。1年生と手をつなぎ、優しく話し掛けながら、それぞれの活動場所に向かっていきました。



班ごとに自己紹介をしたり、班のめあてや1年間の活動内容の確認を行ったりしてから、宝さがしをする班、かくれんぼのようなゲームをする班など、ゲームを楽しんでいました。6年生のリーダーが、みんなが楽しめるようなプログラムを考えたことで、どの学年も一緒になって楽しんでいました。入学してから半月経過した1年生も他の学年と交流できました。各班を回ってみて、ぬくもりのある活動だなあと、ほっこりした気持ちになりました。

リーダーから、たて割りで行う、加護坊山全校遠足の紹介がありました。私もみんなと一緒にいけることを楽しみにしています。

